

特別ゲスト



作曲家 鍵盤ハーモニカ奏者
野村 誠 のむら まこと

名古屋生まれ。8歳より独学で作曲を始めた後、ブリティッシュ・カウンシルの招聘により英国ヨーク大学で研修。

これまでに、東京シティ・フィル、Bochumer Symphoniker(ドイツ)、大井浩明、御喜美江、松原勝也、藤原真理、マルガサリ、高橋悠治、高橋アキ、宮田まゆみ、などが野村作品を演奏している。

自身のバンド pou-fou で Sony Music Entertainment の NEW ARTISTS AUDITION グランプリ受賞(1991)、JCC ART AWARDS 現代音楽部門最優秀賞(1996)、第1回アサヒビール芸術賞(2003)受賞。

著書に「音楽ってどうやるの」「即興演奏ってどうやるの」(あおぞら音楽社)、「老人ホームに音楽がひびく」(晶文社)、「音・リズム・からだ」(民衆社)などがあり、楽譜はマザーアース株式会社より出版されている。CDに「せみ」、「INTERMEZZO」、「しょうぎ交響曲の誕生」などがある。

「music」指揮者



アコーディオニスト
柴崎 和圭 しばさき わか

幼少の頃よりピアノを習い、15歳より松永勇次氏にアコーディオンを師事。自由の森学園・高等学校を卒業後、渡独。'93年より Folkwang 音楽大学・アコーディオン教育学科にて御喜美江氏に師事。同大学院芸術家コース・アコーディオン科にて、'01年よりデトモルト大学・大学院にて学び、'02年卒業。同年12月に帰国。

各国のマスタークラスで、マッティ・ランタネン、シュテファン・フツング、ミニー・デッカー、フーゴ・ノート、細川俊夫(作曲家)の各氏に師事。アーヘン市立音楽学校、フェルベルト市立音楽学校アコーディオン科で教鞭をとる。ドイツ青少年音楽コンクール、アコーディオン部門でのノールト・ウエスト・ラインファーレン州の審査員、ルクセンブルグ国家音楽学院の試験審査員。

JAA 第1回アコーディオン・コンクール総合優勝。JAPC 日本アコーディオン・コンクール会長賞。

現在、アコーディオン教育に情熱を注ぐ傍ら、「御喜美江アコーディオンワールド」や、サイトウキネン・フェスティバル('04、'07年)にも出演、また NHK 交響楽団、東京交響楽団、山下一史指揮ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団、栗山文昭指揮・合唱団「響」の「戒厳令」等共演するなどコンサート活動にも力を入れている。林光作品(舞台用)のスタジオ収録等おこなっている。

音楽センター、宮地楽器 ANNEX・武蔵小金井校、東急セミナー BE・渋谷校、首都圏各地のアコーディオン教室・サークルで講師を務める。NPO 法人アコーディオン協会(JAA)理事。